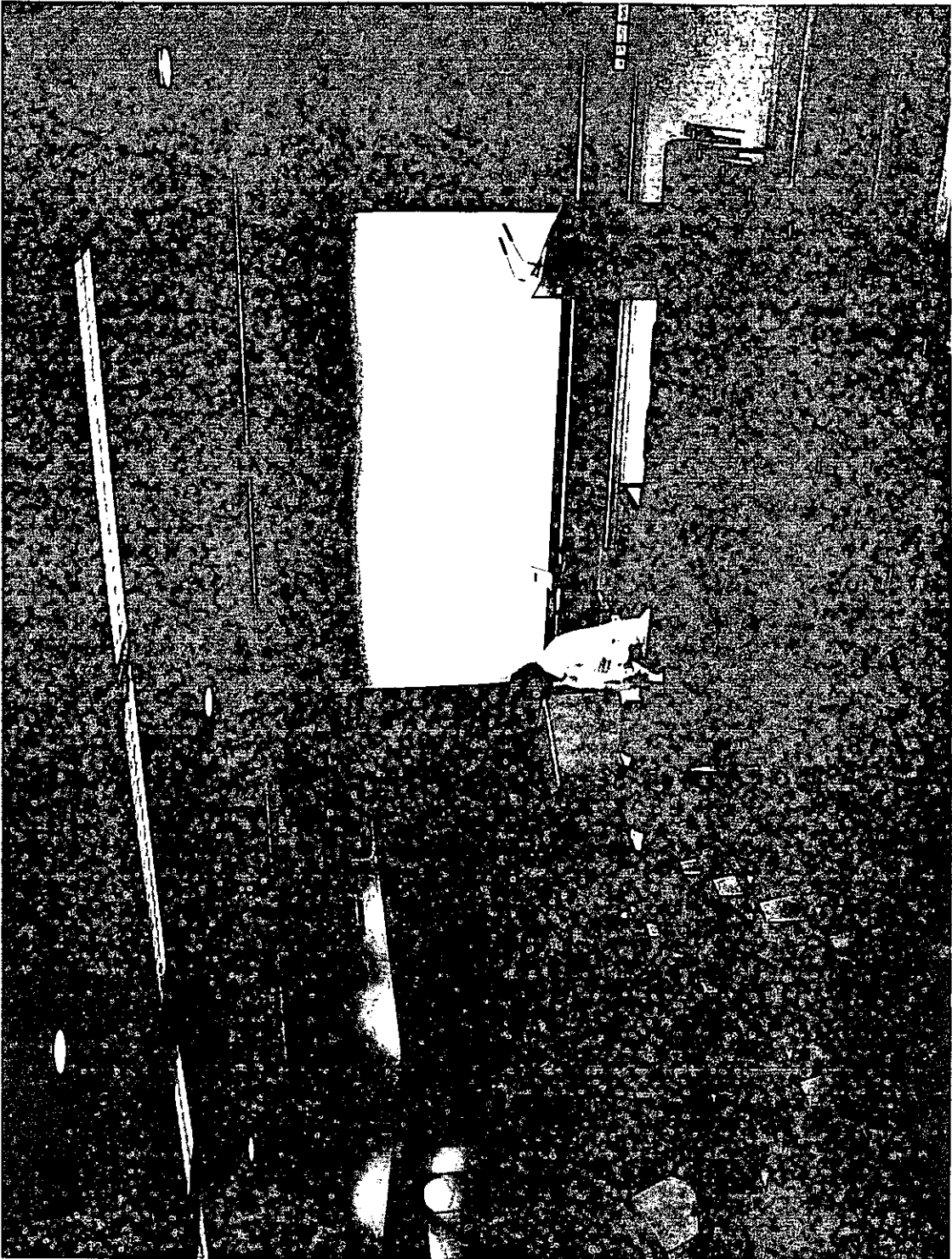


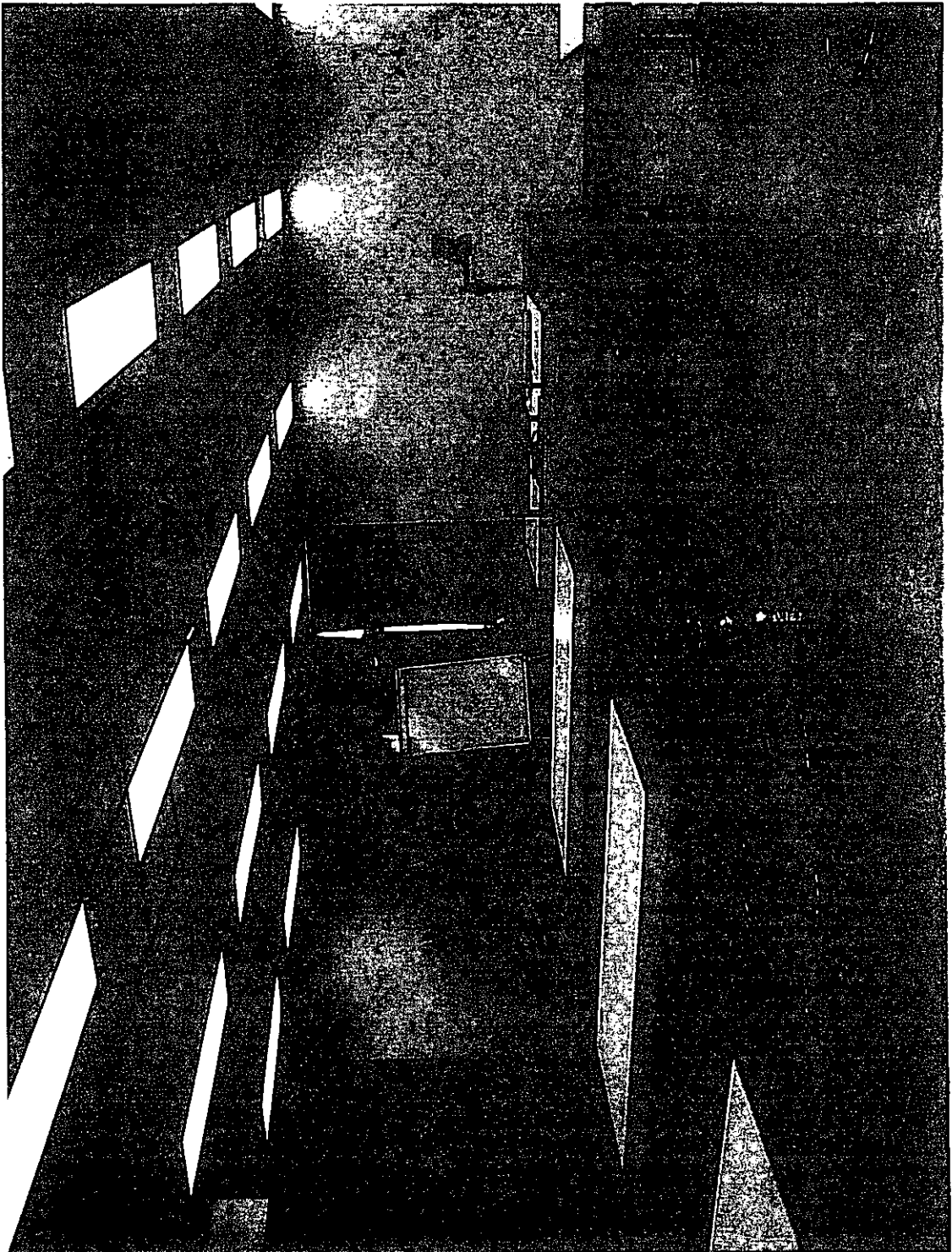
## 第二章 国際症例検討会

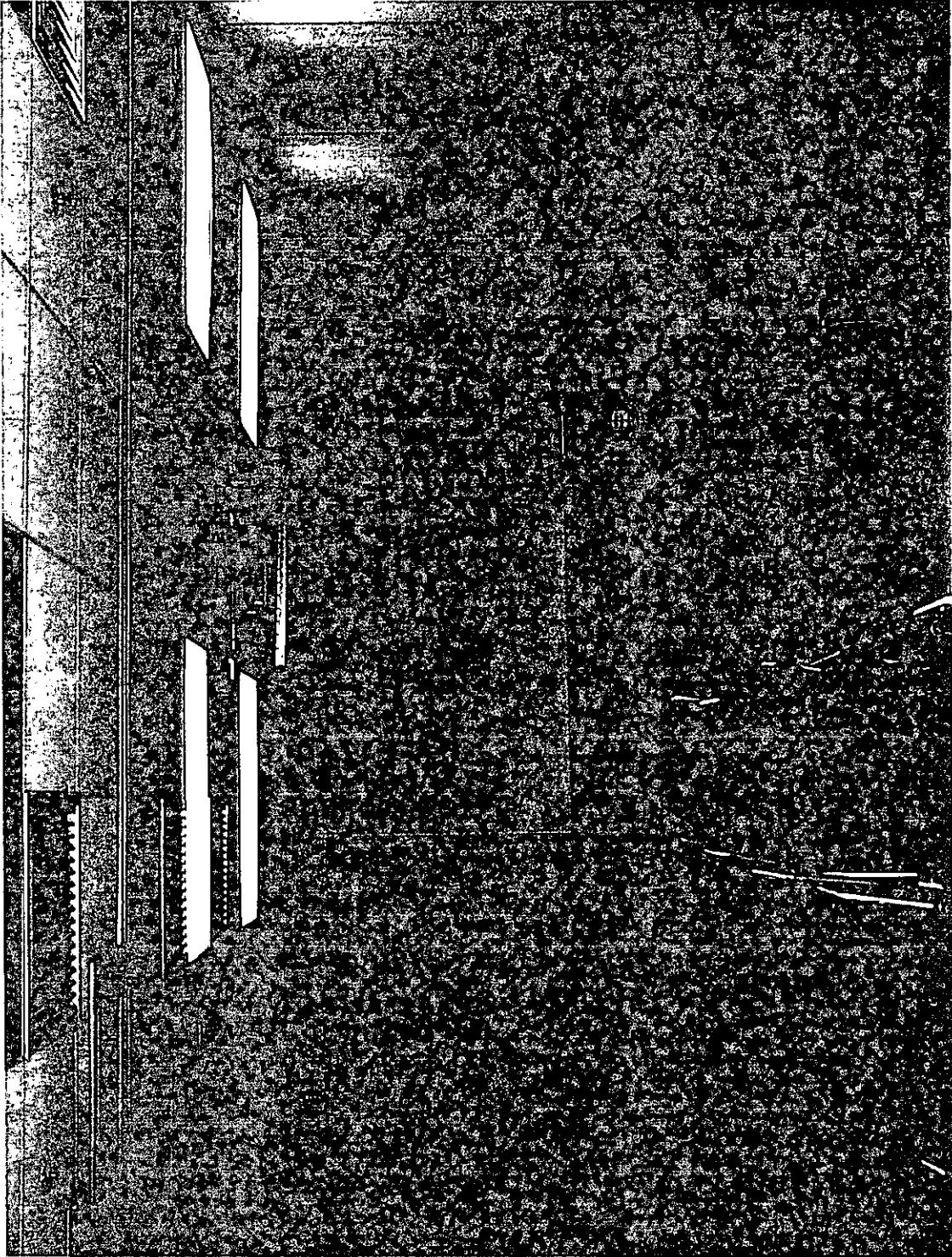
### 写真

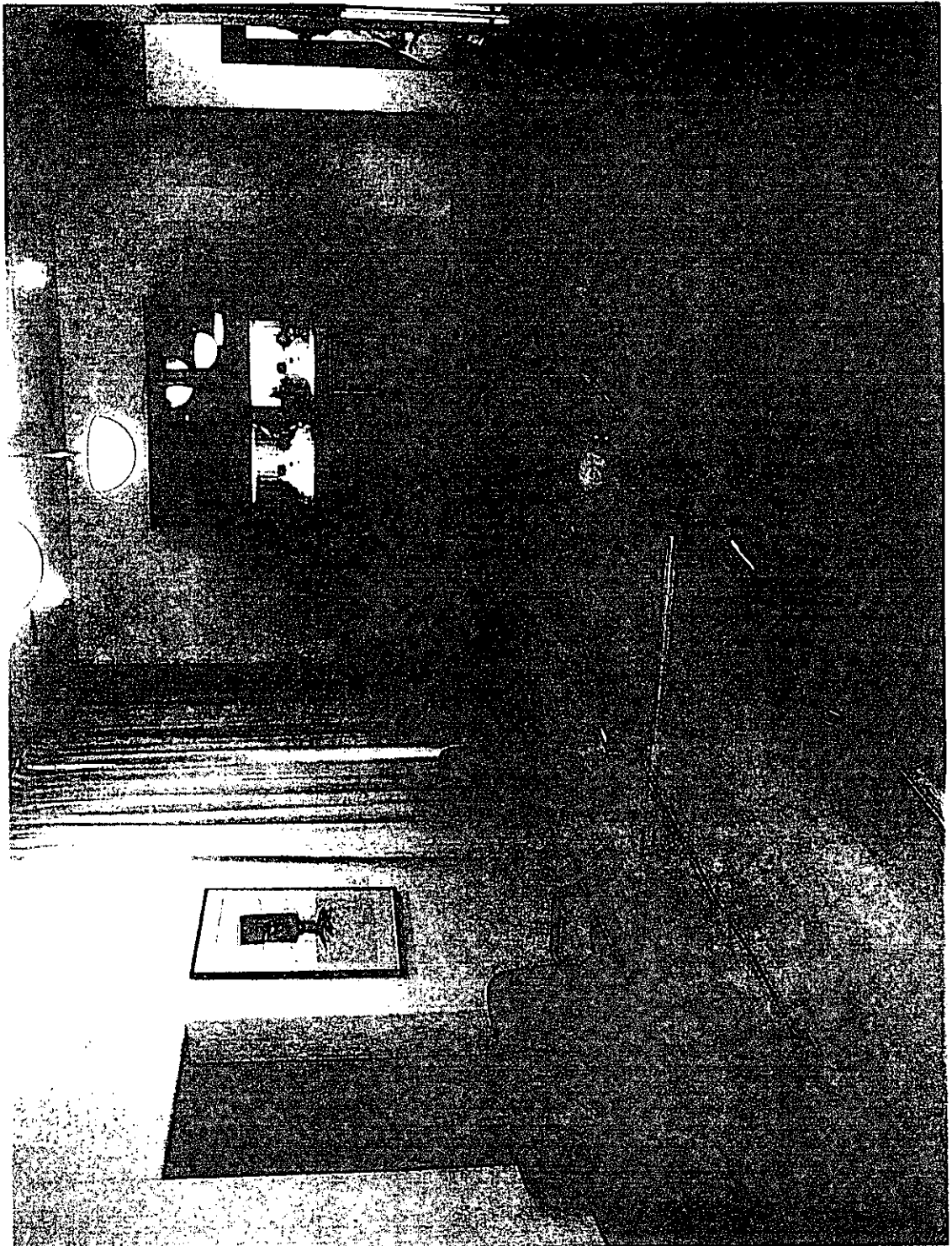
- 香港大学医学部教授棟、外科のカンファレンス室。壁にテレビ会議装置が埋め込まれている。
- 香港大学付属病院の遠隔医療室。スクリーン左の出入り口の上に、テレビ会議のカメラが設置されている。別の角度からのカメラやスライドの映像に切り替えることもできる。
- 香港大学医学部教育棟の実習室。奥にテレビ会議端末が見える。
- 香港大学生涯教育施設の遠隔医療室。
  
- シドニー大学医学部学部長棟の会議室。テレビ会議のセットが置かれている。普段は扉を閉じている。
- 学部長棟の一角にある、シドニー大学全体のテレビ会議網の制御室。壁にネットワークの構成図が掲げてある。大学本部から100kmほど離れた施設もある。

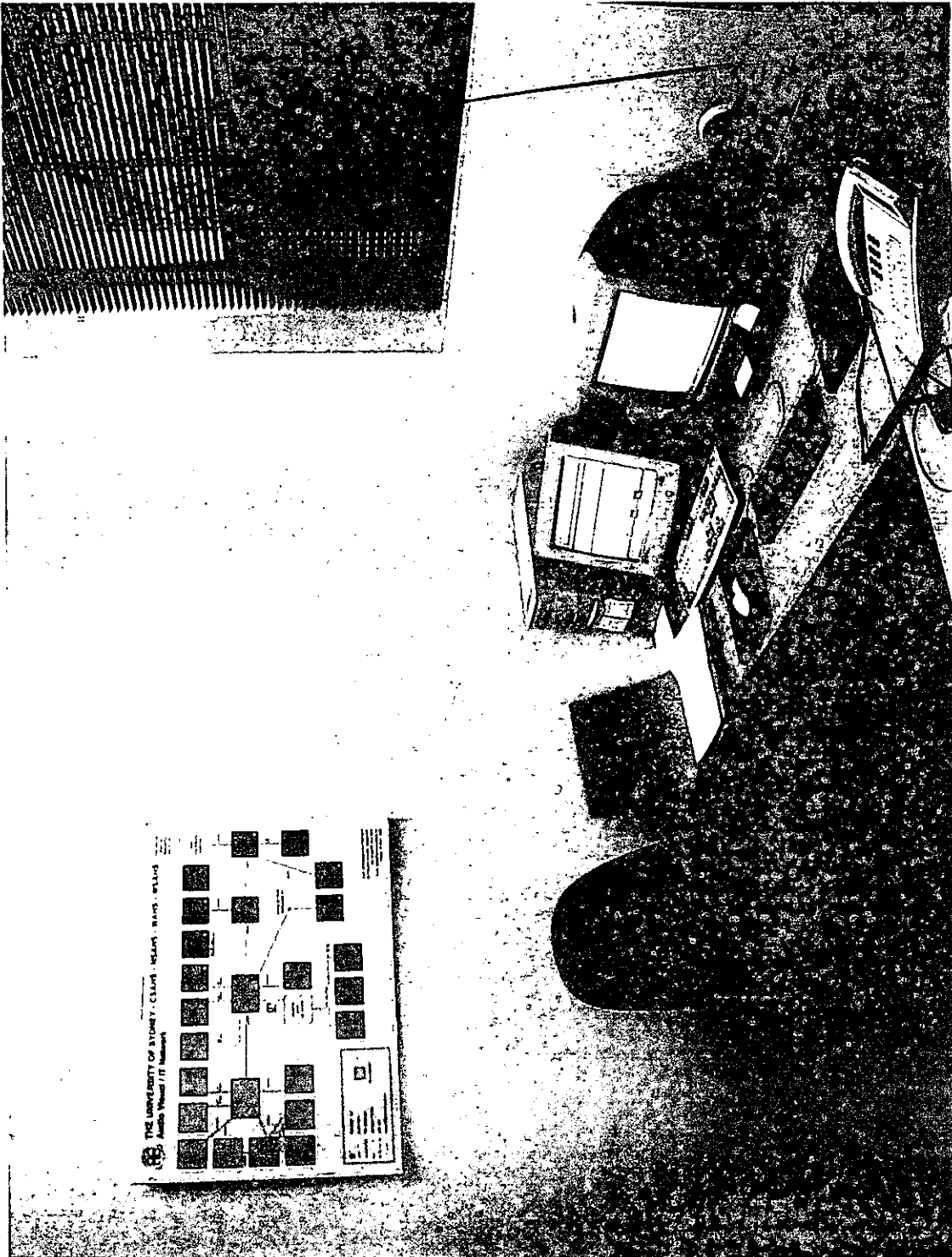












## 第三章

# ランチョンセミナー

<http://mi.med.u-tokai.ac.jp> にて学生・職員に公開



## 第三章 ランチョンセミナー

### 第三章 ランチョンセミナー

#### 1. 目的

テレビ会議によるランチョンセミナーの中継は、東海大学の2病院、つまり東京病院と大磯病院から学生・職員が伊勢原校舎で開催されるセミナーに対話的に参加できる環境を用意することが目的である。さらに副産物として、ホームページに記録が残せるようになった。講演のホームページはインターネットで学生・職員に公開されている(パスワードで保護されており、一般には公開されていない)。また、本年度からは、CD-Rへのコピーサービスを追加した。

#### 2. 結果

1999年度に121回、2000年度に110回のセッションを行った。

2000年度にはルーチン化されたため、日常的な進行に研究者はほとんど関与しない。

メイン会場の伊勢原校舎第一会議室には端末が恒常的に設置され、毎日の準備時間が短縮した。音響系の改良が行われ、配線が簡素化した。東京病院、大磯病院にはプロジェクタが配置され、認視性が高まった。多地点接続装置にはFast T. 120 (業界標準の高速版データチャンネル)が導入され、データの転送速度が24Kbpsから56.6Kbpsに増加した。データの通信時間が短縮されたため、定時の接続が可能となった。

参加者数は恒常的に伊勢原40人、東京病院・大磯病院は10名程度である。

Webページは音声の記録形式をMP3にした。その結果従来の音声圧縮に比べて制作時の音量調節が容易となった。

#### 3. 考察

ランチョンセミナーは本研究終了後も継続することが決まっている。医師会や製薬会社から接続の引き合いがしばしばあるため、将来的には事業として成り立つと考えている。

一方、内容的にはマンネリ化が指摘されている。今後は学生教育の主要な方法の一つととらえ、恒常的な改良のための演者・学生からのフィードバックが必要となる。

技術的には安定してきたが、それでも配線の接続不良、電源の不安定が原因と見られるデータ転送の不安定さなど、改善が必要な点もしばしば出現し、その都度適切な対処が必要であった。

東海大学医学部ランチョンセミナーの記録 (2000年度)

4月10日	小嶋 清一郎	消化器内科	あなたも脂肪肝?
4月11日	平 広之	形成外科	再建外科について
4月13日	鈴木 大輔	腎代謝内科	糖尿病治療のストラテジー
4月14日	下田 雅美	脳神経外科	危ない頭痛とクモ膜下出血
4月17日	村山千恵子	放射線科学2	
	放射線と放射能 オクロの天然原子炉- 原子核分裂は自然界でおこっていた		
4月20日	木下 英親	泌尿器外科	膀胱腫瘍の治療について
5月11日	日原 信彦	リハビリテーション学	注意障害のリハビリテーション
5月12日	鈴木 利保	麻酔科学	
	出血なんてこわくない-誰にでもできる中心静脈穿刺のこつ		
5月15日	松山 孝	皮膚科学	白癬菌症について
5月16日	米山 奈奈子	看護学科	アディクションをめぐる市民活動の実際
5月17日	大須賀 等	総合医学研究所	神経性疾患について
5月18日	安藤 泰彦	臨床病理	活性化血小板の検出法
5月22日	茂手木 成幸	東京病院	消化器内科
	「体内水分量・脂肪量と疾患」-バイオインピーダンス法による体成分測定		
5月23日	中川 儀英	総合診療学	救急ドクターヘリについて
5月25日	源河 朝広	循環器内科	慢性心不全の臨床
5月29日	小林 要二	精神科	精神科デイケアについて
5月30日	萩原 政夫	血液リウマチ内科	癌に対する細胞性免疫療法の現状
5月31日	井上 裕靖	小児科学	小児科領域における血球貪食症候群
6月12日	松倉 修司	眼科学	外来でよく見る外眼部疾患
6月13日	甲田 勝昭	消化器内科2	在宅医療に向けての内視鏡的胃瘻造設術
6月15日	中島 知隆	整形外科	整形外科とバイオメカニクス
6月16日	松山 正也	放射線科1	心不全の胸部X線診断
6月20日	小林 隆児	社会福祉学科	落ち着きのない子ども Mother-Infant Unit
6月22日	高山 陽子	北里大学大学感染症学講座	歯科処置と感染性心内膜炎
6月23日	房野 玉江	看護部	
	心臓血管手術患者の不安緩和につながった外来での術前オリエンテーション		
6月26日	小野 容明	呼吸器内科	睡眠時無呼吸症候群とVascular Events
6月27日	剣持 孝弘	外科学2	内視鏡による食道穿孔
6月29日	岩下 賢一	皮膚科学	光線過敏症について
6月30日	鈴木 隆弘	産婦人科学	子宮外妊娠の保存療法
7月10日	松前 光紀	脳外科学	
	脳外科の手術 術中の大出血から未来の手術まで - 全てを見せます		
7月11日	原田 竜彦	耳鼻咽喉科学	難聴児の早期発見と早期療育の現状
7月13日	濱野 均	神経内科	当科における急性期脳梗塞の現状
9月11日	溝口 満子	看護学科	遺伝看護学の動向
9月12日	上野 滋	小児外科	おしりを造る

9月14日	志村 信一郎	心臓血管移植外科	大動脈瘤治療の最前線
9月20日	牧野 英博	産婦人科	硬膜外麻酔分娩について
9月21日	朝倉 新	精神科	民間精神病院における思春期病棟の試み
9月22日	南 壮太郎	大磯病院 泌尿器外科	尿失禁に対する薬物療法
9月25日	玉井 好史	放射線科学2	上咽頭癌の放射線治療
9月26日	馬上 喜裕	総合診療学	救急外来における呼吸器疾患
9月28日	福山 東雄	麻酔科学	麻酔中の呼吸 -呼気終末炭酸ガス濃度 (E TCO <sub>2</sub> ) を中心に-
9月29日	長田 成彦	消化器内科1	肝血管腫
10月10日	平 広之	形成外科	シミ・アザの治療
10月12日	保田 由喜治	小児科	夜間救急に子供が来たら…
10月13日	種元 桂子	眼科	白内障について
10月17日	遠藤 じゅん	放射線科学1	骨盤骨折における動脈塞栓術 (TAE) の有効性
10月18日	出口 喜昭	東京病院 循環器内科	不整脈非薬物的治療
10月19日	高安 博之	消化器内科2	胃もたれを感じたら……
10月20日	奥脇 伸二	産婦人科	更年期外来について
10月23日	坂田 憲昭	口腔外科	口蓋裂患者に対する小児歯科的アプローチ
10月24日	赤間 浩之	分子生命科学1	X線解析装置でできること
10月26日	宮永 耕	社会福祉学科	アディクション・アプローチについて (援助の現場から)
10月27日	古野 薫	リハビリテーション学	脊髄損傷のリハビリテーション
10月30日	宮地 勇人	臨床病理学	H I V業務感染の防止対策
10月31日	大上 研二	耳鼻咽喉科学	頭蓋底手術について
11月13日	明神 和紀	医学部6年	銅欠乏性貧血
11月15日	竹井 太	大磯病院 脳外科	視床出血と定位的脳内血腫除去術
11月16日	佐藤 正宏	総合医学研究所	Cre-loxP系を駆使した発生工学技術の開発
11月17日	仁科 良	腎代謝内科	CAPD (腹膜透析) のABC
11月20日	中野 敦史	消化器内科1	診断的腹腔鏡の有用性
11月21日	松山 孝史	皮膚科学	アトピー性皮膚炎の新しい治療法
11月24日	川口 千佳子	神経内科	若年性脳梗塞
11月27日	大門 英光	精神科	神奈川県精神科救急
11月28日	福田 竜基	血液リウマチ内科	貧血 -鉄欠乏性貧血を中心として-
11月29日	浦野 哲哉	大磯病院 呼吸器内科	結核
11月30日	赤坂 理	整形外科	変形性股関節症の診断と治療
12月11日	平林 久幸	神経内科	脳梗塞でも上肢単麻痺は起こる
12月12日	本多 ゆみえ	総合診断学	くも膜下出血によるヘリコプター搬送の有効性
12月14日	青木 久之	東京病院 検査科	超音波検査に必要な基礎知識

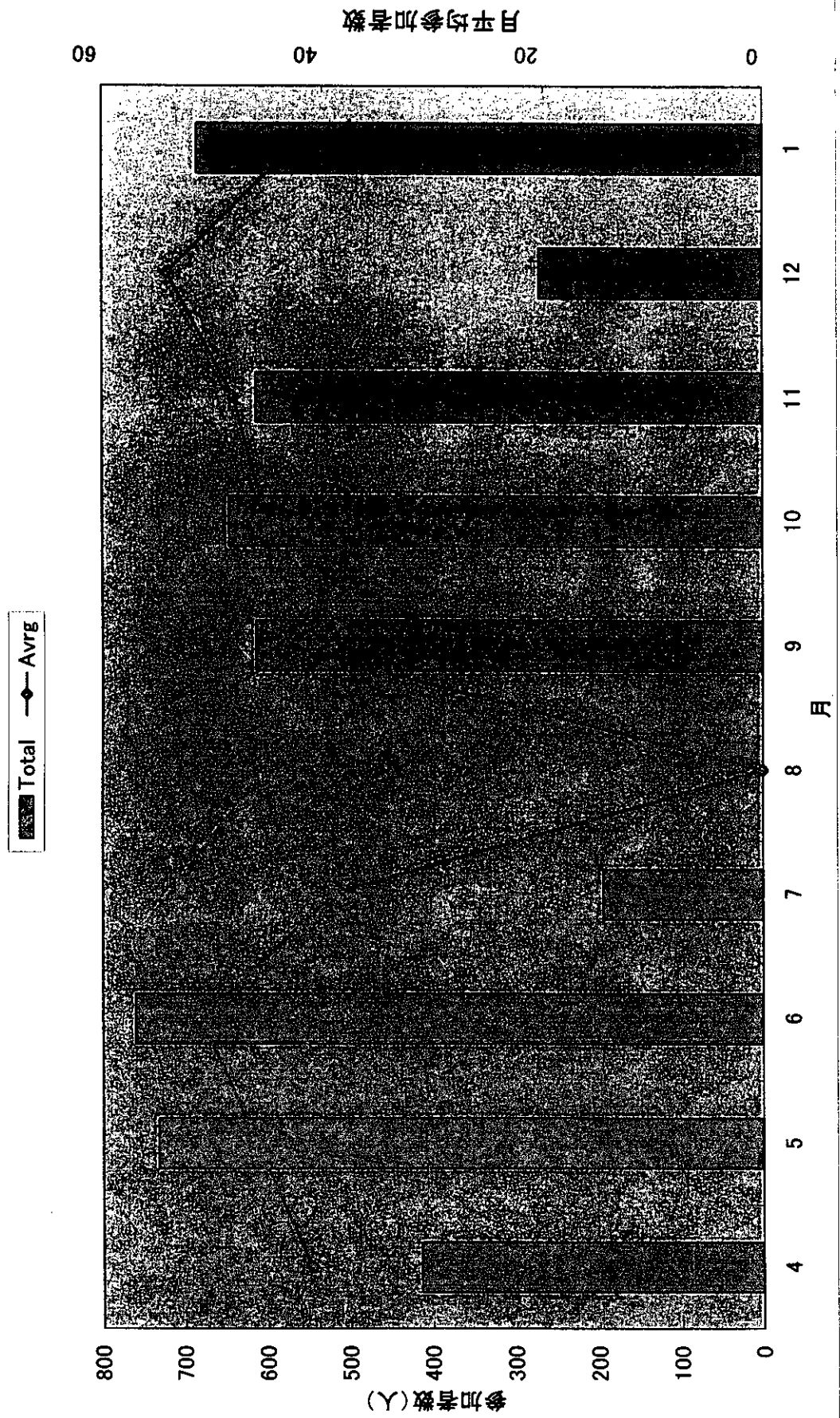
12月15日	清田 光子	在宅看護医療センター	在宅医療センターで開始した訪問看護の現状と今後の展望
1月10日	端山 直樹	呼吸器内科	肺癌化学療法のup to date
1月11日	徳永 正俊	泌尿器外科	LUTS(Lower Urinary Tract Symptoms)に対するマネージメント
1月12日	高倉 一郎	小児科	小児の心疾患
1月15日	杵淵 嘉夫	麻酔科	血圧を測る(2) -HemodynamicsとBiomechanicsの視点から-
1月16日	森本 浩司	循環器内科	急性心筋梗塞の最近の治療法
1月17日	小林 健二	消化器内科2	ここまでわかる、超音波内視鏡検査
1月18日	中村 雅登	病理診断学	非小細胞性肺癌におけるIL-10産生の意義
1月19日	太田 正敏	内分泌外科	ヒト型化抗HER2モノクローナル抗体による乳癌治療
1月22日	八反 尚一郎	生理科学	心臓を標的とした細胞移植
1月23日	石川 宏志	眼科学	特発性黄斑円孔の手術療法
1月25日	宮阪 宗男	形成外科学	顔面神経麻痺に対する再建術
1月26日	小林 博	耳鼻咽喉科学	鼻出血
1月29日	坂東 由美	放射線技術科	ディクテーション法のすすめ ~電子カルテに向けて~
1月30日	黒川 清	医学部長	発熱・血尿を主訴として紹介されてきた27歳女性
1月31日	藤森 賢	呼吸器外科	flail chestに対する新しい治療

#### 伊勢原校舎CPCの記録(2000年度)

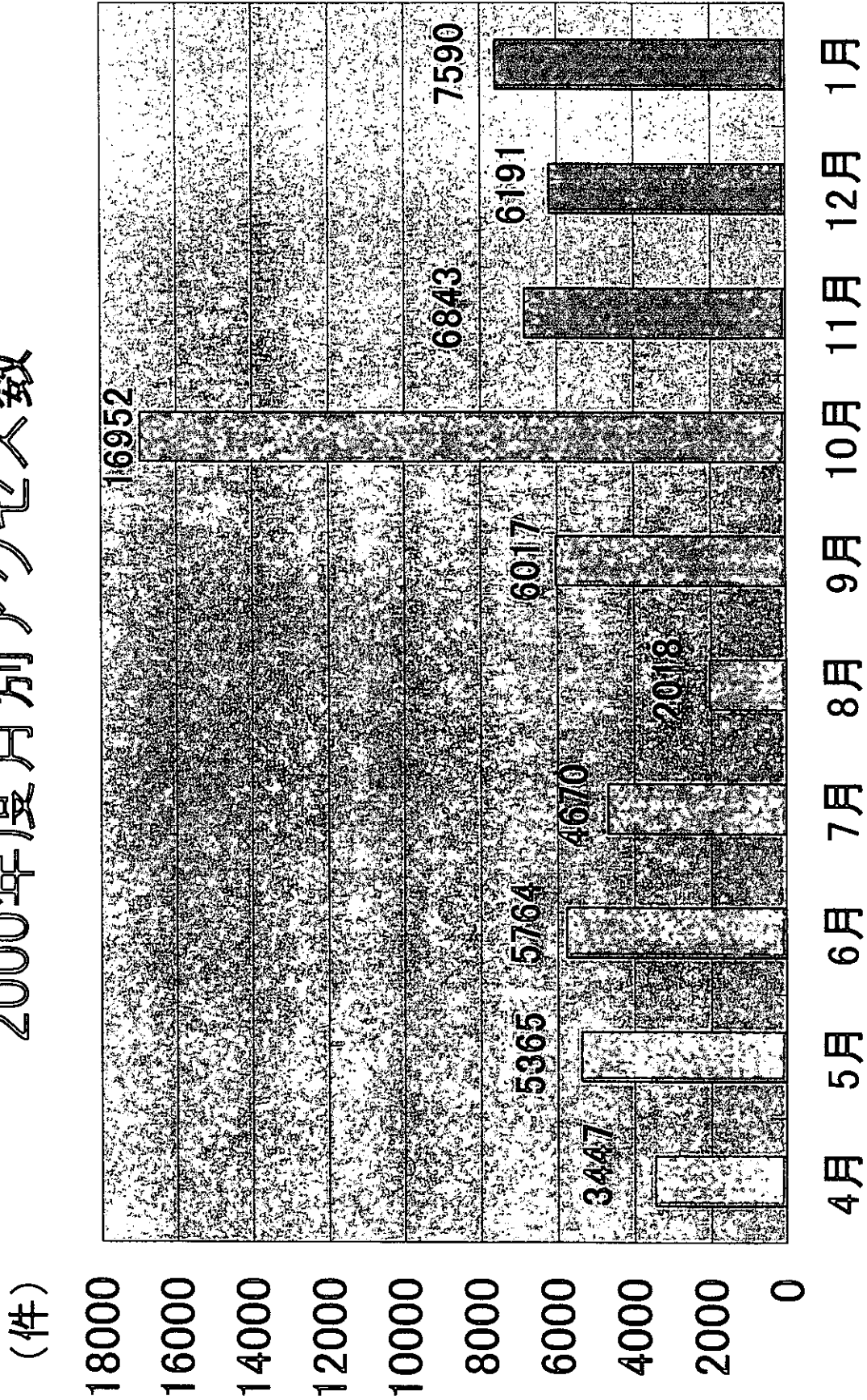
4月12日	浜野 均	神経内科	右下肢筋力低下で初発し、約4年で四肢筋力低下、呼吸筋麻痺へ至った70歳代男性
4月26日	加藤 俊一	小児科	舌癌を併発したFanconi貧血の一例
5月10日	濱本 篤	呼吸器外科	胸腔鏡下肺生検を必要とした横隔膜上の孤立陰影の一例
5月24日	牛山 淳	消化器内科2	胃十二指腸に直接浸潤をきたし、画像上その質的診断に苦慮した巨大な脾腫瘍性病変の一例
6月14日	服部 欽哉	小児科	同種末梢幹細胞移植後、大量下血をきたした一例
6月28日	小方 康生	泌尿器外科	尿混濁のため泌尿器依頼となった甲状腺癌患者
7月12日	内田 能安	産婦人科学	羊水過多と子宮内胎児発育遅延を呈した症例
9月13日	吉田 美奈子	循環器内科	院内死亡した心筋梗塞の一例
9月27日	中村 健司	消化器外科	診断に難渋した幽門狭窄の一例
10月11日	吉場 史朗	血液リウマチ内科	骨髄移植後に肺及び肝内に腫瘍性病変を認めた一例
10月25日	岩元 徳全	呼吸器内科	血痰で発見された胸部腫瘤影
11月08日	繁田 明義	整形外科	腰痛を呈、下肢の麻痺が急速に進行した一症例



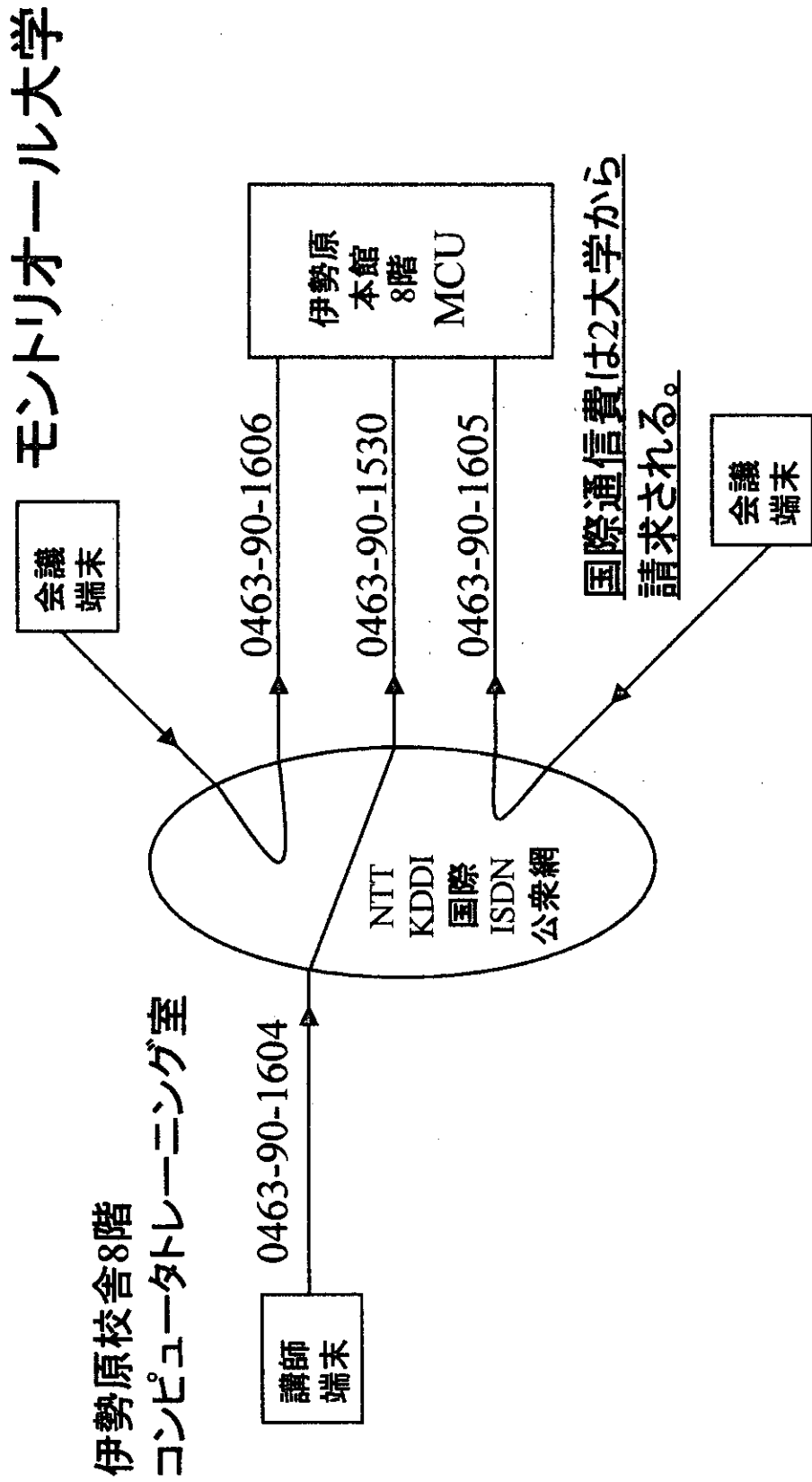
# ランチョンセミナー—2000年度月別参加者数と平均



# 2000年度月別アクセス数



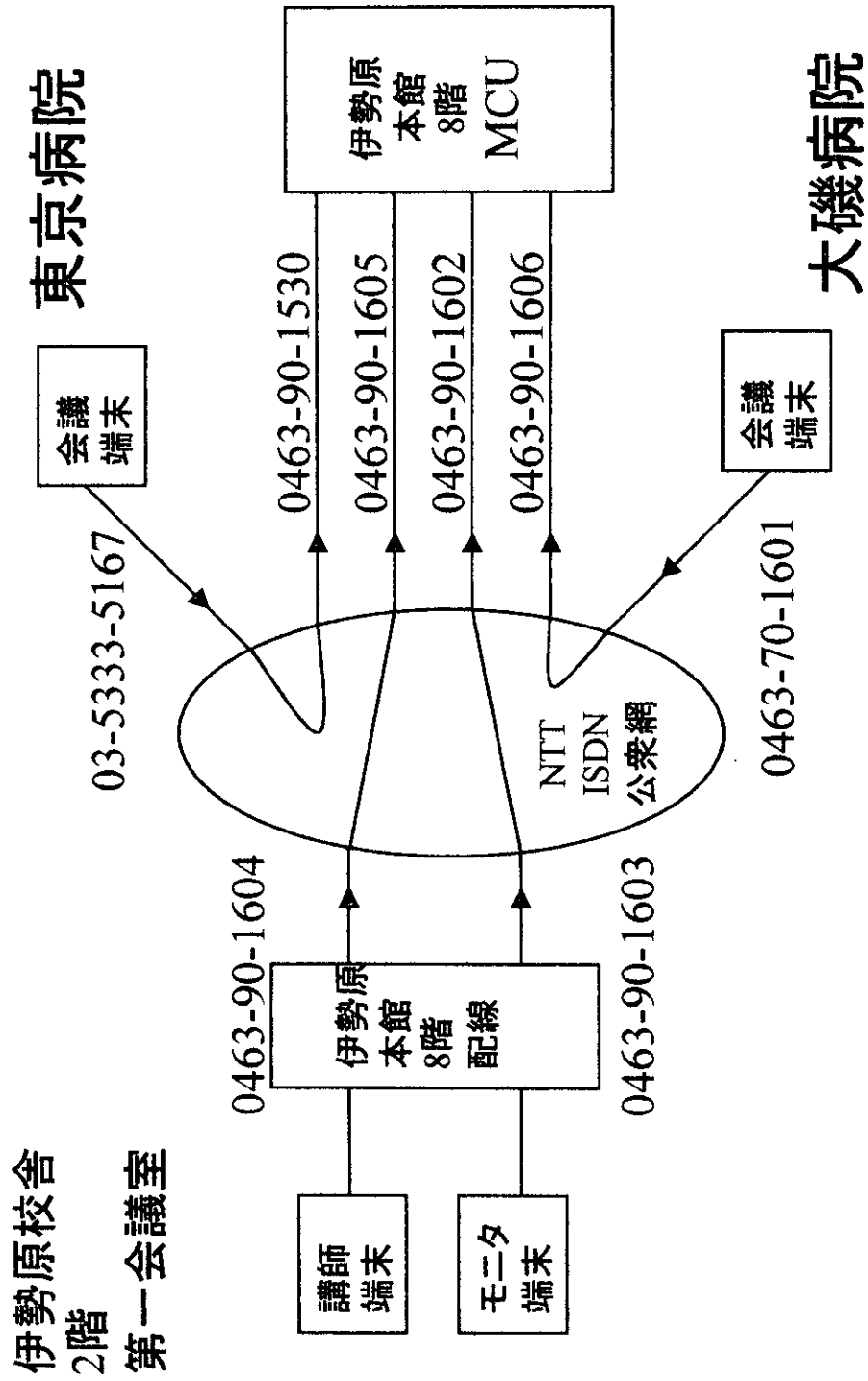
# カナダとの症例検討会のISDN経路図



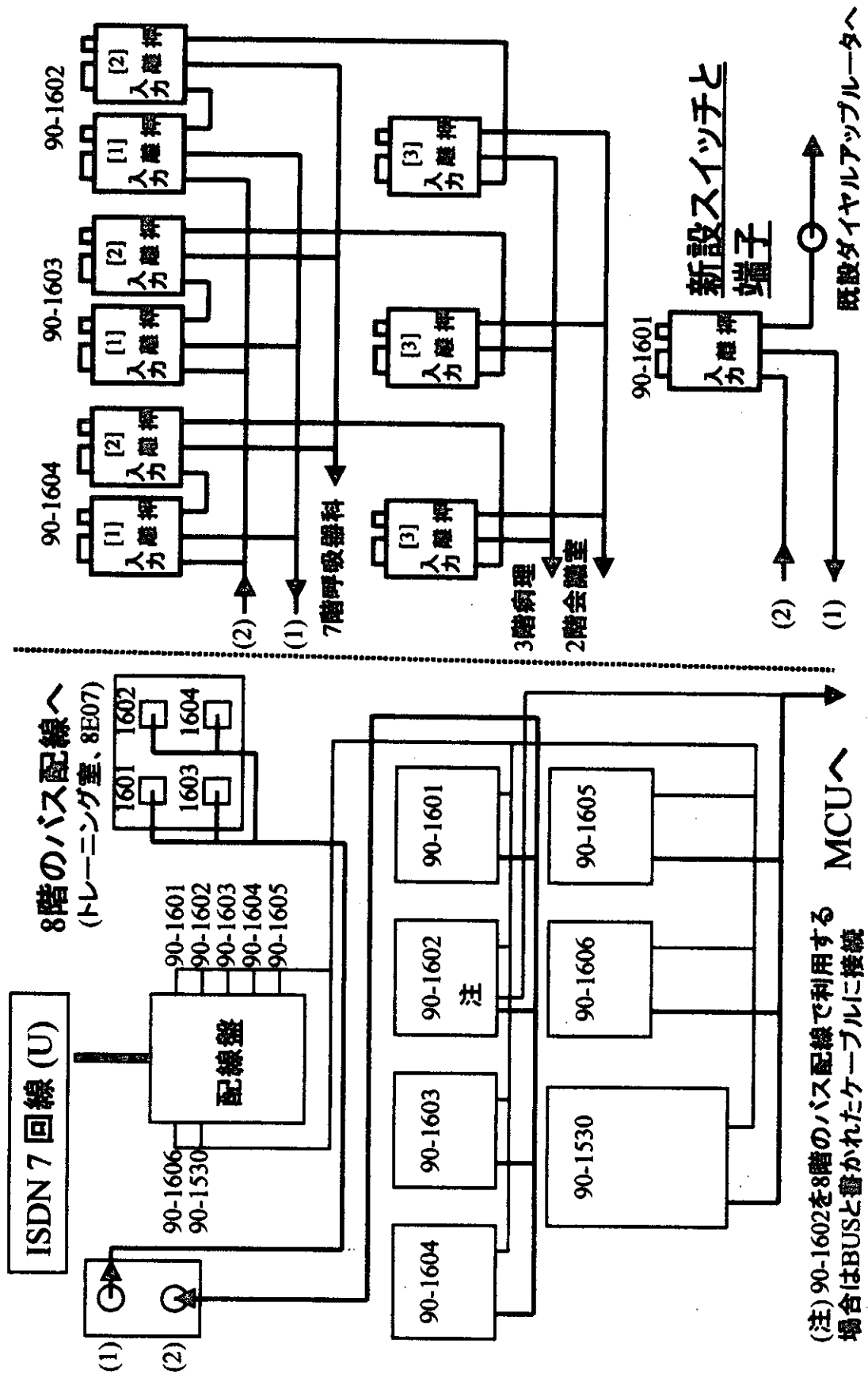
ニューファンドランド・メモリアル大学



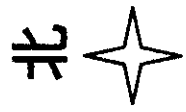
# ランチョンセミナーのISDN経路図(1999～2000)



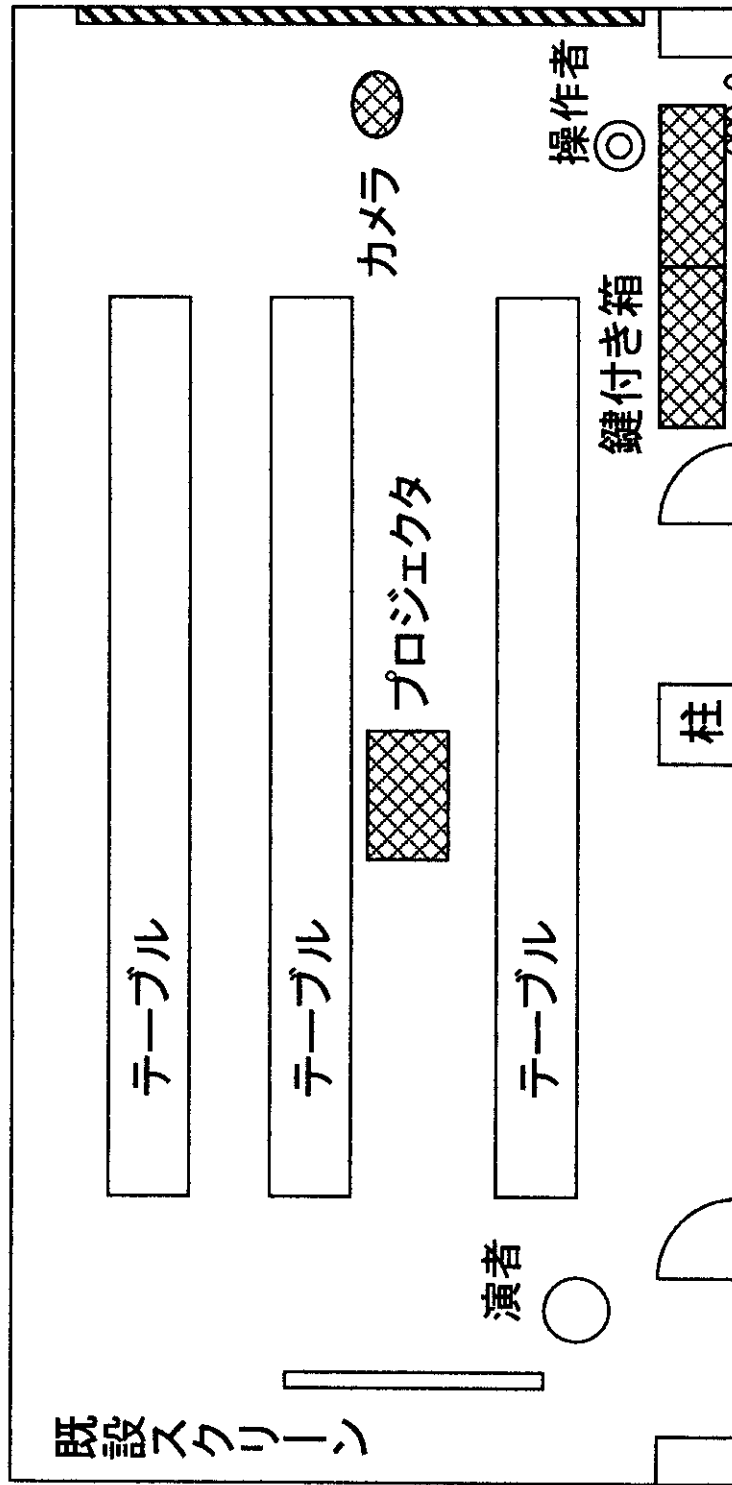
# 8E05室 ISDN配線 (2000年度工事後)



# 本館2階 第一会議室 (2D03)



窓側



廊下側

ISDN 3回線 LAN

90-1604

90-1603

90-1602

### 第三章 ランチョンセミナー

#### 写真

- 東京病院に導入された液晶プロジェクタ
- 液晶プロジェクタの利用形態
  
- 新しくデザインされたWebページ
- ランチョンセミナーの記録CD-R。学生と職員がコピーできる。
- ランチョンセミナーCD-Rの目次ページ